



新しい企業効率性と高い利益率への転換

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

インダストリー4.0と企業のITシステムにおける標準化は、高い作業効率性への移行において、高い利益性における企業構築への転換を実現できるのである。

これらは自己コアコンピタンスの構築と企業が高い利益という健全性を有することなのである。

これらは機械化とITシステムにおける生産性向上が、高い利益性への転換を実現できるためであり、設備投資における必要性は新しい企業の資本政策を必要とされるのである。

全ての反復作業は、IT化や機械化が可能であるため、これらの効率化は、人件費の大幅な削減を実現できるのである。

これら新しい企業のシステムへの転換は、利益基準を向上させることが、設備投資や開発における企業の資本要求において、高い利益率への転換を要求されるのである。

これらは完全に新しい企業基準における企業転換を時代要求において必要とされるためであり、グローバル基準への転換は、これら新しい企業環境を必要とされるのである。

これらは他方において知的生産性における企業経営への転換であり、生産拠点を必ずしも途上国へ要求することを必要としないのである。これらは企業の国際戦略の変更を提案できるものである。

またデータの集積と分析における市場把握や企業経営は、新しい企業の指針を与えるものである。

これらは高い生産効率性という新しい企業基準における明確な企業転換を実現できるものであり、これらが明らかに新しい国際市場への参加の要求であることを理解すべきである。